



コロナ禍の収束を祈って

先ず以て今夏の豪雨で被災された方々には衷心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り致します。

さて、夏の暑さも過ぎ、段々と秋らしく過ごしやすいい気候になってきました。今年も長雨の影響による日照不足が続き、お米をはじめとする作物の出来栄えが心配されます。そうした中でも、秋は実りの季節ということ、毎年十一月二十三日の勤労感謝の日には、その年に取れたお米を神々にお供えし、恵みに感謝する「新嘗祭（にいなめさい）」が、宮中並びに全国の神社で行われます。

また、十月頃からは各神社において、伊勢神宮のお神札である神宮大麻の頒布が始まります。氏神さまのお神札と神宮大麻を神棚にお祀りいただき、清々しい新年を迎えられるよう準備をいただければと思います。

未だ収束の見えぬコロナ禍の中、様々な活動の自粛を余儀なくされる日々が続いておりますが、新型コロナウイルス感染症を収束させるためには、それぞれの立場で最善を尽くすことが重要であると存じます。我々神職ができることは、毎日ご神前でコロナ禍の収束、世界の平安を祈る事であると思っております。是非皆様も神社やご家庭の神棚に手を合わせて一緒にお祈りいただけますと幸いです。

新型コロナウイルスの猛威は予断を許さない状況ではありますが、徐々にワクチン接種を完了した方も増えてをり、外出できる環境が整いつつあります。ご参拝の際には引き続き感染症対策に十分にご注意を付けてお越しください。

七五三

「七つまでは神の子」という言葉が表すように、医療技術の乏しかった昔は、乳幼児が無事に育つかどうかは、神様にお任せするしかありませんでした。

七五三は、古くからの風習である三歳の「髪置」、五歳の「袴着」、七歳の「帯解」に由来しているといわれ、江戸時代頃より秋の稲刈り後の頃に、子供が育つことができたことを家族でお祝いしてきました。これまで見守って下さった氏神さまやご先祖さまにお参りをして感謝の気持ちを表し、これからの健やかなる成長をお祈りしましょう。

満年齢	数え年	年齢
平成30年生 (2018年)	平成31年・令和元年生 (2019年)	3歳 (男児・女児)
平成28年生 (2016年)	平成29年生 (2017年)	5歳 (男児)
平成26年生 (2014年)	平成27年生 (2015年)	7歳 (女児)

※数え年：生まれた年を1歳として、以降正月になると1歳加える。



新嘗祭

新嘗祭の起源は、『日本書紀』の三大神勅、斎庭の稲穂の神勅によります。高天原で育てられていた穀物の種が、皇御孫命により初めて葦原中津国（日本）でも栽培され、これが我が国における農業の事始めとなりました。この御神恩に対する感謝の祭りとして十一月二十三日に天皇陛下自ら五穀豊穣を神々に奉告されるのが新嘗祭であり、これに倣って全国の神社でも新嘗祭が執り行われています。



神宮大麻

皇室の御祖先の神、国民の大御祖神として伊勢神宮にお祀りされる天照大御神のおちからを宿し、私たちにより大きな恵みを与えてくださるお神札を「神宮大麻」と言います。地域によっては、「お伊勢さん」「天照さん」「お祓いさん」と親しみを込めて呼ばれることもあります。神宮大麻は、全国各地の神社で毎年十月頃から頒布が始まります。氏神さまのお神札とともに合わせてお家にお祀りしましょう。



天照皇大神宮

神社からのお願い

神社では感染予防に対し様々な取り組みを行なっています。是非清々しい気持ちで神社にお参りして戴く為に、皆様におかれましても感染症対策に十分に気を付けて戴くようお願い申し上げます。



神社や神道について詳しくはこちらのQRからご覧ください。



家内安全・身上安全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病氣平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々な祈願を付けています。いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。

連絡先 左右神社・櫻井子安神社 社務所 9:16時
〒289-0504
千葉県旭市櫻井1264
☎0479(68)3387
☒ホームページ問合せフォームより受付